

学びのポイント

動物たちが遊園地で、おばけの子どもから、家に招待されるお話です。6つの場面で構成されています。登場人物の会話や行動、気づいたことを伝え合います。

動画がはじまる前に

【5分で園児の頭と心をやわらかくする活動を】先生も参加してください。

1. 「遊園地が好きな人は、手を挙げましょう」
挙手した人に、どんな所が好きなのか、たずねてください。
挙手していない人には、遊園地以外の好きな場所をたずねてください。

ステップ1

1 ページ目【遊園地にて】

★知っている乗り物がありますか？ ※画面を止めて、挙手した人の中から発表をします。(発表者は4名)



はじめに、発表する人は乗り物の名前を言った後、「この乗り物に乗ったことがある人は、立ちましょう」と言うように、伝えてください。

★左手前にあるのは？ ※画面を止めて、全員で発表をします。以下同様です。

★左奥にあるのは？

★右手前にあるのは？

★右奥にあるのは？

★イヌが「僕たちの乗りたいものは何だった？ 画面を止めて、言ってね」 ※全員で発表をします。

★ここまでのお話の場面が出てきます。どんなお話だったか、みんなが伝えてね。 ←グループポイント

※このあと4つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。

子どもたちには、画面の数を伝えないでください。以下同様です。



グループポイント ディスカッションタイム：各1分30秒

はじめに「発表するのは、ひとつの場面に一人です。ジャンケン以外で決めましょう」

「場面ごとに、発表をする人が変わります」「グループ全員で意見を出しましょう」

「この話を聞いていない人が、よくわかるように、伝えましょう」

2 ページ目【オバケの家の前にて】

★ここまでのお話の場面が出てきます。どんなお話だったか、みんなが伝えてね。 ←グループポイント

※このあと3つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。



1 ページ目のディスカッションタイムで、発表する子どもだけが意見を言うような傾向があれば、発表しない人へ、意見を求めるように伝えてください。

★(3つ目の画面の最後)サルくん、どんな気持ちでしょう？ ※画面を止めて、挙手した人が発表をします。

※一人目の発表後「他の意見はありますか？」と、できるだけ色々な意見が出るようにしてください。



グループポイント ディスカッションタイム：各2分

はじめに「さっきとは違う人が、発表をしましょう。それ以外は、同じルールです」

2分で相談することも、伝えてください。

3 ページ目【オバケの家の前にて】

★みんなは誰がいるか、知っていますか？

★サルが「友だちにはナイショだけど、僕…。」この後、サルくんは何て言うのでしょうか？ ※画面を止めて、発表ができる人は立つよう伝えてください。一人目の発表後「他の意見はありますか？」と、促してください。

★ここまでのお話の場面が出てきます。どんなお話だったか、みんなが伝えてね。 ←グループポイント

※このあと3つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。



グループポイント ディスカッションタイム：各1分30秒か2分 ※ここまでの様子で決めます

「全員発表をしたグループは、さっきより上手に話したいと思う人が、挑戦してみましょう」と、伝えてください。向上心が育まれます。

ステップ2

1 ページ目【夜の家の前にて】

- ★サルくんは、どうしたの？ ※画面を止めて、挙手した人が発表をします。
- ※一人目の発表後「他の意見はありますか？」と、できるだけ色々な意見が出るようにしてください。
- ★サルくん、何て言っているのでしょうか？ ※画面を止めてください。



はじめに「サルくんになって発表ができる人は、立ちましょう」と伝え、みんなの前に並んでもらいます。端から順番にテンポ良く、進めてください。

- ★サルが「僕3番目なら入る」の台詞後、オバケが「サルくん、どうしてそう言ったのでしょうか？画面を止めて、考えてください」 ←グループポイント1
- ★（ネコの声だけを聞いて）誰の声でしょう？
- ★オバケが「ここまでの場面が出てきます。みんなが伝えてね」 ←グループポイント2
※このあと3つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。
子どもたちには、画面の数を伝えないでください。以下同様です。



グループポイント1 ディスカッションタイム：2分

「サルくんになって発表をできる人がしましょう。グループみんなで考えましょう」
発表後、どのグループが1番サルくんに似ていたか、たずねてください。

グループポイント2 ディスカッションタイム：各1分30秒

はじめに「発表するのは、ひとつの場面に一人です。さっきと違う人が発表しましょう」
「場面ごとに、発表をする人が変わります」「グループ全員で意見を出しましょう」
「この話を聞いていない人が、よくわかるように、伝えましょう」

2 ページ目【廊下・リビングにて】

- ★（パパの声だけを聞いて）誰の声？
- ★（オバケの台詞後）どうして疲れたのでしょうか？画面を止めて、お話をしてね。 ←グループポイント1
- ★パパが「ここまでの場面が出てきます。みんなが伝えてね」 ←グループポイント2
※このあと3つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。
- ★イヌが「パパさんは、いい時にきたねって言ってたよ。どうしてかな？」 ※画面を止めて、発表できる人は立つよう伝えてください。一人目の発表後「他の意見はありますか？」と、促してください。



グループポイント1 ディスカッションタイム：2分

「オバケの子どもになって発表をできる人がしましょう。グループみんなで考えましょう」
発表後、どのグループが1番オバケの子どもに似ていたか、たずねてください。

グループポイント2 ディスカッションタイム：各1分30秒か2分 ※場面ごとに変更も可能
はじめに「さっきとは違う人が、発表をしましょう。それ以外は、同じルールです」
※グループ全員が発表をしていれば、挑戦したい人がするように、伝えてください。

3 ページ目【リビングにて】

- ★パパが「みんなの大好物は何かな？」 ※画面を止めてください。



端から順番に一人ひとつ、発表をします。先生も参加して、楽しく進めてください。

- ★（お料理について）パパが「どこがかわったか、わかるかな？」 ※画面を止めて、全員同時に発表をします。
- ★オバケが「動物さんたちは、何て言っていたと思う？」 ※画面を止めて、「動物の役で発表できる人は、立ちましょう。どの動物になるかを言ってから、発表をしましょう」と、伝えてください。
- ★パパが「ここまでの場面が出てきます。みんなが伝えてね」 ←グループポイント
※このあと3つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。



グループポイント ディスカッションタイム：各1分30秒か2分 ※場面ごとに変更も可能
「全員発表をしたグループは、さっきより上手に話したいと思う人が、挑戦してみましょう」と、伝えてください。向上心が育まれます。
相談時間に変更がある場合は、その都度伝えてください。

ステップ3

1 ページ目【リビングにて】

- ★ネコが「実はオバケのパパさんが」の台詞後、テーブルに料理がある場面が出たタイミングで、画面を止めてください。 ※振り返りなので、全員で発表をします。
- ★オバケが「ここまでの場面が出てきます。みんなが伝えてね」 ←グループポイント
※このあと3つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。
子どもたちには、画面の数を伝えないでください。以下同様です。
- ★ママさん、何の準備ができたのかしら？ ※画面を止めて、発表できる人は立つよう伝えてください。
一人目の発表後「他の意見はありますか？」と、促してください。



グループポイント ディスカッションタイム：各1分30秒

はじめに「発表するのは、ひとつの場面に一人です。ジャンケン以外で決めましょう」
「場面ごとに、発表をする人が変わります」「グループ全員で意見を出しましょう」
「この話を聞いていない人が、よくわかるように、伝えましょう」

2 ページ目【リビングにて】

- ★オバケが「ママはこの後どう思うと思う？ 画面を止めて、お話をしてね」 ←グループポイント1
- ★ママが「ここまでの場面が出てきます。みんなが伝えてね」 ←グループポイント2
※このあと3つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。
- ★ママさんの作ったピザ、どんな味がするのかな？ ※画面を止めて、全員で発表をします。



グループポイント1 ディスカッションタイム：1分30秒

はじめに「これまで発表をしていない人が、発表をします。他の人は協力をしましょう」と、伝えてください。

グループポイント2 ディスカッションタイム：各1分30秒か2分 ※場面ごとに変更も可能
はじめに「さっきとは違う人が、発表をしましょう。それ以外は、同じルールです」
※グループ全員が発表をしていれば、挑戦したい人がするように伝えてください。

3 ページ目【廊下・迷路の部屋】

- ★パパが「この扉を開けると…」 「みんなは何があると思う？ 画面を止めて考えて」 ←グループポイント1
- ★サルくん、何て言っているのでしょうか？ 画面を止めて、言ってね。



はじめに「サルくんになって発表ができる人は、立ちましょう」と伝え、みんなの前に並んでもらいます。
端から順番にテンポ良く、進めてください。

- ★（迷路の部屋で）オバケが「ネコさんは、あといくつ進むと出られる？」 ※画面を止めてください。
※一人目の発表後「他の意見はありますか？」と、促してください。
- ★オバケが「ここまでの場面が出てきます。みんなが伝えてね」 ←グループポイント2
※このあと3つの画面があります。各シーンで「画面を止めて、伝えてね」と、問いかけます。



グループポイント1 ディスカッションタイム：2分

全員が発表をしている場合、説明に自信がある人が発表をするよう、伝えてください。
色々な意見が出るとおもいます。発表後はどのグループが良かったか、たずねてください。

グループポイント2 ディスカッションタイム：各1分30秒か2分 ※場面ごとに変更も可能
「全員発表をしたグループは、さっきより上手に話したいと思う人が、挑戦してみよう」と、伝えてください。向上心が育まれます。

ステップ3なので、先生から「良くなった点」や先生が「楽しかったこと」など、子どもたちへ伝えてください。